

# 令和2年度 進路だより

## わくわくワーク 第3号

令和2年9月25日  
富山県立しらとり支援学校  
進路支援部

秋分も過ぎ、日の入りも早まったように感じる季節となりました。今回は、8月に行われた本校の進路支援に関する活動についてお知らせします。

### 「高等部3年進路学習会」(8月3日(月)開催)

富山市福祉保健部障害福祉課の佐藤功幸さんを講師に迎え、高等部3年生の保護者を対象にした進路学習会を行いました。16名の保護者の参加がありました。

「障害福祉サービスについて」「卒業後利用できるサービスについて」「障害サービスを受けるまで」「障害基礎年金について」という内容で、卒業前の手続きの流れや卒業後に受けられるサービスなどについて教えていただきました。

質疑応答では、保護者の方から次のような質問があり、佐藤さんより本校の「進路の手引き」なども参照していただきながらご回答をいただきました。

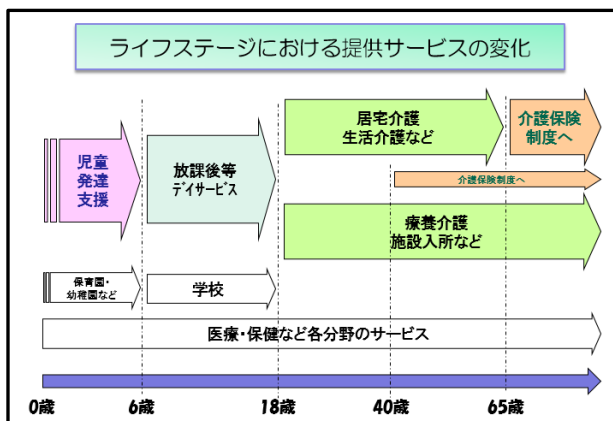
Q：年金の申請時に必要となる医者診断書はどのような所でもらえばよいのか。

A：普通の内科や小児科では書けない。精神科で診断書を書いてもらうとよい。ただ、初診では書いてもらえないこともあるので、複数回通うことが必要である。また療育手帳の申請時の病院でも良い。富山県障害者相談センターに相談すると病院等を教えてくれる。

Q：卒業後の施設利用のための障害支援区分認定の手続きはどのようにするのか。

A：現在短期入所の決定を受けている人は、自宅で実施できる。18才の誕生日1か月前に案内をしている。現在デイサービスしか利用していない人や障害福祉サービスを一度も利用したことない人は、自分からお子さん同伴で市役所に来てもらうことになる。質問に答えるのには1時間程度掛かる。質問内容については、お子さんが回答する場合も、実際にはどの程度できるのか保護者の説明も必要となる。支援が必要ということは多くのサービスを受けられることになるので自力でどの程度できるのかありのままに答えてほしい。

これ以外にも、多数質問をいただきました。



障害支援区分と給付（サービス利用）の関係	
障害支援区分に応じたサービスの利用	障害支援区分にかかわらず利用可
介護給付	訓練等給付
○居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護	○自立訓練
○重度障害者等包括支援	○就労移行支援
○療養介護	○就労継続支援
○短期入所	○就労定着支援
○生活介護	○共同生活援助
○施設入所支援	(一部障害支援区分が必要なおもあり)

# 「第1回インターンシップ推進委員会」

(8月26日(水)開催)

インターンシップ推進委員会は、児童生徒一人一人に応じたよりよい進路支援ができるように、企業や福祉関係者などの外部委員を交えて意見交換を行う委員会です。年2回開催されます。

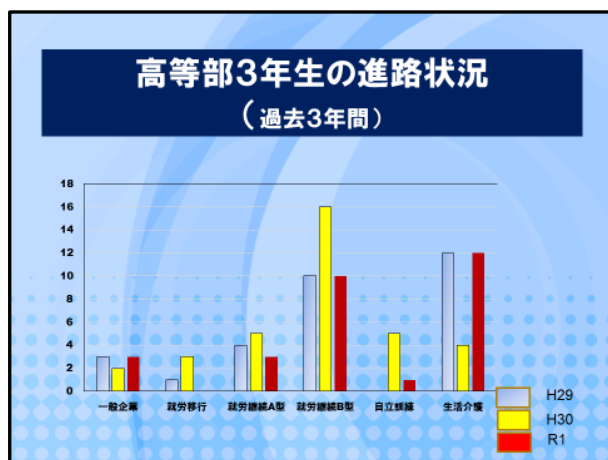
第1回の委員会では、学校から昨年度の卒業生の進路先やアフターケアの状況、在校生の第1回就業体験の評価と課題を報告した後、卒業後の課題などについての意見交換が行われました。

各委員のご意見を一部紹介します。

- 仕事を辞めてしまってからではなく、働いているが悩んでいることや、つまずいていることなどハローワークに相談にきてもらえれば、関係機関と連携して支援ができる。
- コロナ関係で家庭から「困っている」という相談が数件ある。日頃から保護者がレスパイトしていくことが大事だと感じている。
- 家での過ごし方、働くこと以外のスキルをどうやって身に付けていけばよいか、生きがいや生活の面白さについても支援していく必要がある。
- ストレスの発散方法がないと精神的に苦しくなってしまうことがある。生活スキルなども含めてトータルで進路を考えていくとよい。
- あんまり頑張らせると子供たちがかわいそうである。「まあいいか。」と思ってくれる人が増えて優しい社会になるとよい。

外部委員の方からの意見を受けて、進路先の選択だけではなく、卒業後の生活を豊かにするために、余暇の過ごし方や生きがい作りについて考えることも大切だと感じました。

1月末には第2回インターンシップ推進委員会を行います。そこでは1年間の進路支援の取組を報告し、ご意見をいただく予定にしています。



### 就業体験の概要

	6月 <2週間>	11月 <2週間>	1月
1年生	校内	校内	
2年生	校外	校外	
3年生	校外	校外	一部の生徒